

## 注 意 報

農技セ第6503号  
平成27年5月13日

各関係機関長 殿  
病虫害防除員 殿

徳島県立農林水産総合技術支援センター  
病虫害防除所長  
(公印省略)

平成27年度農作物病虫害発生予察情報について

平成27年度農作物病虫害発生予察注意報第1号を公表したので送付します。

平成27年度病虫害発生予察注意報第1号

平成27年5月13日  
徳 島 県

勝浦町及び上板町における予察灯での果樹カメムシ類の誘殺数が平年より多く、本年2月に実施したチャバネアオカメムシの越冬調査においても、調査11地点中10地点で越冬を確認し、越冬密度も昨年並に高かったことから、今後も発生が増加し被害の拡大が懸念されますので、注意報を発令します。

現地においては、発生状況の把握に努めるとともに、適切な防除指導をお願いします。

作物名：果樹全般（特に、ナシ、モモ、ウメ、カキ、カンキツ類等）

病虫害名：果樹カメムシ類（主に、ツヤアオカメムシ、チャバネアオカメムシ）

1. 発生地域 県内全域
2. 発生時期 5月中旬～
3. 発生程度 中～多(前年より多く、平年より多い)

#### 4. 注意報発令の根拠

(1) 予察灯における4月1半旬から5月1半旬までの果樹カメムシ類誘殺数

勝浦町では、ツヤアオカメムシが234頭、チャバネアオカメムシが241頭で、平年(ツヤアオカメムシ21.7頭、チャバネアオカメムシ12.0頭)および前年(ツヤアオカメムシ38頭、チャバネアオカメムシ14頭)に比べて多い。

上板町では、ツヤアオカメムシが61頭で、平年(23.6頭)に比べてやや多く、ほぼ前年(85頭)並である。一方、チャバネアオカメムシは47頭で、平年(5.3頭)および前年(2頭)に比べて多い。

(2) チャバネアオカメムシの越冬密度

2月に実施したチャバネアオカメムシの越冬調査(11地点×2か所調査)では、10地点で越冬を確認し、越冬成虫は4.4頭/m<sup>2</sup>であり、昨年(11地点×2か所の調査では全地点で越冬を確認し、越冬成虫は6.6頭/m<sup>2</sup>)並の越冬密度であった。

(3) 高松地方气象台が5月7日に発表した1か月予報では、天気は数日の周期で変わり、気温は平年より高く、降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ないと見込まれており、やや発生助長的な気象条件である。

## 5. 防除法等

- (1) 果樹園周辺の山林や雑木林から成虫が飛来してくるので、園内を巡回し、飛来を確認したら早急に防除を行なう。
- (2) 移動性が高いので、広域一斉防除により防除効果の向上に努める。
- (3) 飛来数が多い場合は、継続的は防除が必要であるが、薬剤の影響でハダニ類が増加する場合があるので、ハダニ類の発生にも十分注意する。
- (4) 防除等の詳細については、徳島県植物防疫指針を参照するとともに、薬剤の使用に当たっては、必ず農薬ラベル記載事項を遵守する。

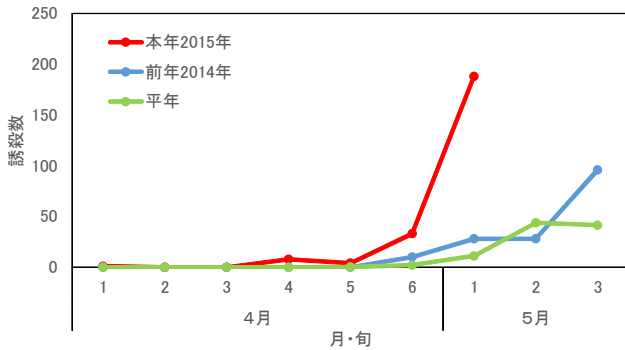


図1 予察灯におけるツヤアオカメムシの誘殺消長(勝浦町)

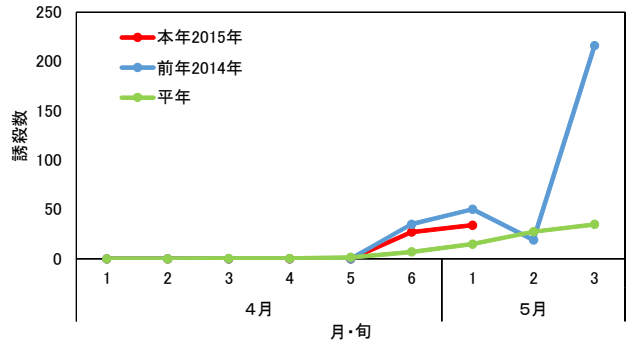


図2 予察灯におけるツヤアオカメムシの誘殺消長(上板町)

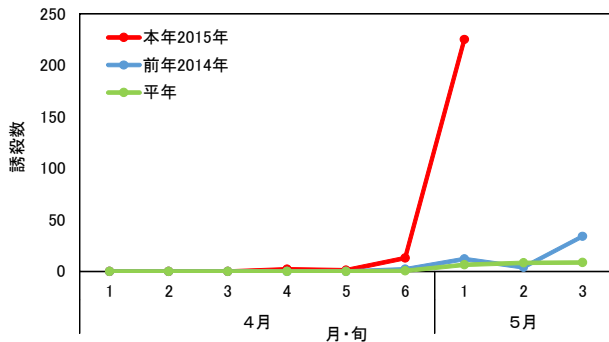


図3 予察灯におけるチャバネアオカメムシの誘殺消長(勝浦町)

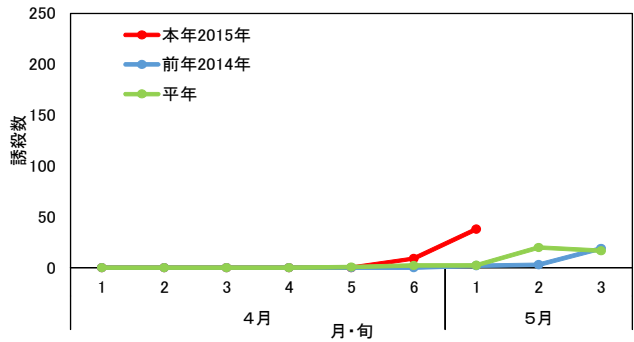


図4 予察灯におけるチャバネアオカメムシの誘殺消長(上板町)



図5 ツヤアオカメムシ



図6 チャバネアオカメムシ